

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年8月18日(2011.8.18)

【公開番号】特開2010-5245(P2010-5245A)

【公開日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-002

【出願番号】特願2008-170008(P2008-170008)

【国際特許分類】

**A 6 1 B 3/028 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 3/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検者眼に視力検査用の視標を呈示する視標呈示手段と、呈示視標に対する被検者の判読結果の応答信号を入力する入力手段と、を有し、該入力手段により入力された応答の正誤の判定結果に基づいて被検者眼の視力を自動的に検査する視力検査装置において、前記視標呈示手段を制御し、呈示視標を高い視力値から低い視力値に徐々に所定の時間間隔で連続的に切換えていき、前記入力手段により応答信号が入力され、その応答が正答であったときは連続的な視標の切換え制御を停止し、以降応答信号が入力される毎にその正誤の判定結果に基づいて視標を切換えるか、又は前記視標呈示手段を制御し、呈示視標を低い視力値から高い視力値に徐々に所定の時間間隔で連続的に切換えていき、前記入力手段により判読不能の応答が入力されたときは、連続的な視標の切換え制御を停止し、以降応答信号が入力される毎にその正誤の判定結果に基づいて視標を切換える制御手段を備えることを特徴とする視力検査装置。

【請求項 2】

請求項 1 の視力検査装置において、前記制御手段は、所定の時間間隔で連続的に切換えていくときの呈示視標を視力値のみ異なる同一視標に切換えることを特徴とする視力検査装置。

【請求項 3】

請求項 2 の視力検査装置は、被検者眼が眼鏡等による矯正眼か否かの選択信号を入力する選択手段を有し、

前記制御手段は、前記選択手段の選択信号に基づいて、呈示視標を高い視力値から低い視力値に徐々に所定の時間間隔で連続的に切換えていくときの初期呈示の視力値、又は呈示視標を低い視力値から高い視力値に徐々に所定の時間間隔で連続的に切換えていくときの初期呈示の視力値を変更することを特徴とする視力検査装置。

【請求項 4】

請求項 2 の視力検査装置において、前記制御手段は、前記連続的な視標の切換え制御を停止する際にその応答信号が入力されたときの呈示視標の呈示開始からの時間  $T_s$  を計測し、その計測時間  $T_s$  に応じて前記連続的な視標の切換え制御を停止した後に呈示する視力値を変更することを特徴とする視力検査装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(1) 被検者眼に視力検査用の視標を呈示する視標呈示手段と、呈示視標に対する被検者の判読結果の応答信号を入力する入力手段と、を有し、該入力手段により入力された応答の正誤の判定結果に基づいて被検者眼の視力を自動的に検査する視力検査装置において、前記視標呈示手段を制御し、呈示視標を高い視力値から低い視力値に徐々に所定の時間間隔で連続的に切換えていき、前記入力手段により応答信号が入力され、その応答が正答であったときは連続的な視標の切換え制御を停止し、以降応答信号が入力される毎にその正誤の判定結果に基づいて視標を切換えるか、又は前記視標呈示手段を制御し、呈示視標を低い視力値から高い視力値に徐々に所定の時間間隔で連続的に切換えていき、前記入力手段により判読不能の応答が入力されたときは、連続的な視標の切換え制御を停止し、以降応答信号が入力される毎にその正誤の判定結果に基づいて視標を切換える制御手段を備えることを特徴とする。

(2) (1)の視力検査装置において、前記制御手段は、所定の時間間隔で連続的に切換えていくときの呈示視標を視力値のみ異なる同一視標に切換えることを特徴とする。

(3) (2)の視力検査装置は、被検者眼が眼鏡等による矯正眼か否かの選択信号を入力する選択手段を有し、前記制御手段は、前記選択手段の選択信号に基づいて、呈示視標を高い視力値から低い視力値に徐々に所定の時間間隔で連続的に切換えていくときの初期呈示の視力値、又は呈示視標を低い視力値から高い視力値に徐々に所定の時間間隔で連続的に切換えていくときの初期呈示の視力値を変更することを特徴とする。

(4) (2)の視力検査装置において、前記制御手段は、前記連続的な視標の切換え制御を停止する際にその応答信号が入力されたときの呈示視標の呈示開始からの時間 $T_s$ を計測し、その計測時間 $T_s$ に応じて前記連続的な視標の切換え制御を停止した後に呈示する視力値を変更することを特徴とする。